

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	03	0403	広域観光推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
市内への誘客促進

《事業開始の背景》
花巻温泉郷を中心とした宿泊受入基盤と広域的な観光資源の組み合わせによる観光誘客の相乗効果を発揮させる。

《事業概要》
○広域連携（花巻、遠野、平泉、釜石）で開催する特典付きツアー「いわてクラシック街道」を支援する。
（一社）花巻観光協会が主催

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

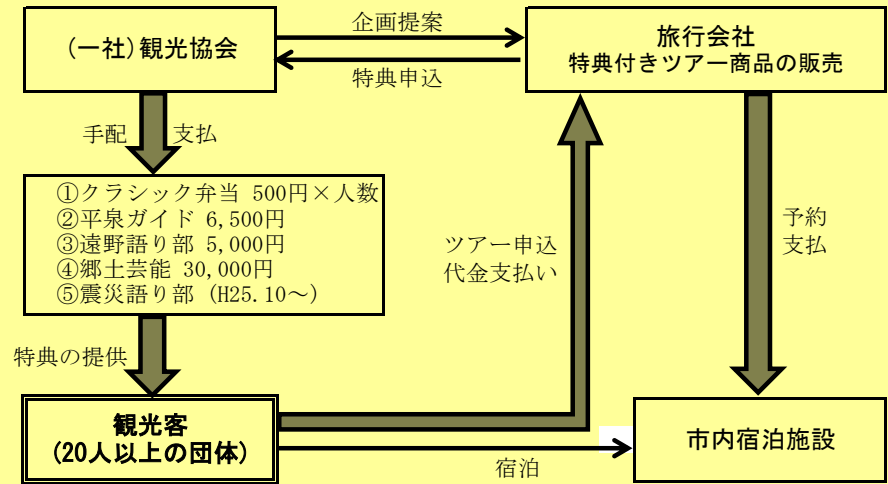
項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① ツアー参加人数	人	目標	10,000	10,000	
		実績	13,765	4,824	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
しごと	商工観光部	観光課	鈴木 秀宜	288

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	8,300				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	8,300			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

- イーハトーブ周遊観光促進事業補助金 3,800千円
 - ・特典付きツアー「いわてクラシック街道」の開催を支援
 - ・特典ツアーの要件
 - ① 20名以上の団体で市内の宿泊施設を利用
 - ② 花巻、平泉、遠野、釜石のうちを3か所以上を観光
 - ③ ツアー名に「いわてクラシック街道」をいれる



- イーハトーブ観光誘客促進事業補助金 4,500千円
ファンタジックナイト「銀河鉄道の夜」
 - ・期 間 H25.12.14(土)～H26.2.11(祝) 《12.31～1.3を除く》56日間
 - ・時 間 17:00～20:00
 - ・場 所 花巻駅前多目的広場
 - ・内 容 なはんプラザの北側壁面ガラスに、白色カッティングシートを貼り付けてスクリーンにする。
アニメーション「銀河鉄道の夜」を上映。⇒映像版イルミネーションによる誘客

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	03	0403	広域観光推進事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	まちぐるみ観光サービスの産業化
	2		2-1	
目的	市内への誘客促進			
対象	観光客			
意図	花巻を訪れる機会が広がる。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○広域連携（花巻、遠野、平泉、釜石）で開催する特典付きツアー「いわてクラシック街道」を支援する。
（一社）花巻観光協会が主催

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① ツアー開催回数	回	計画	90	180	
		実績	90	108	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① ツアー参加人数	人	目標	10,000	10,000	
		実績	13,765	4,824	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

平泉世界文化遺産登録後3年が経過し、集客効果の低下傾向が見られることから、これまで周知をしていない旅行AGTへのPR活動等にて入れが必要となっている。また、フリーペーパーの発行については招聘事業の強化へ予算を振り替えたため実施しなかった。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

市政懇談会等において、平等世界遺産登録の機会を失することなく、誘客に結び付けるよう提言をいただいている。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	・宿泊施設への誘客は、本来事業者において取り組むべきことである。 ・東日本大震災の風評被害による観光客の減少に対応するため、誘客に効果ある旅行商品造成に必要な支援を行う必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	積極的な営業活動で新たな旅行会社へ売り込むことで成果を上げることが期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	補助内容の見直しによる削減が考えられる
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	特典付ツアーへの参加機会は平等に与えられている。

《総合評価》…上記評価結果の総括

平泉の知名度による誘客効果を検証する必要があるが、震災復興の側面からも効果のある商品造成支援は必要。